

養豚生産者へ「畜産の担い手の育成・確保に関する支援」について講演しました

令和6年3月8日(金)にレンブラントホテル海老名にて令和5年度畜産技術検討会(養豚関係)を開催しました。この検討会は、畜産技術等に関する情報を当所から養豚生産者に発信するためのもので、毎年開催されています。

普及指導課からは「畜産の担い手育成について」というテーマで、これまでの新規参入者や、新規就農後の担い手に対する支援内容について講演を行いました。会場からは支援対象者の規模や支援期間等について質問があり、活発な意見交換を行うことができました。企画研究課からは「環境制御型養豚施設の実証試験について」の講演が行われました。

検討会終了後は、(一社)神奈川県畜産会主催の養豚講習会が行われ、畜産のICT化をテーマとして掲げ、ベーリンガーインゲルハイムアニマルヘルスジャパン(株)から「AI活用豚群咳音検知・豚舎内温湿度モニタリングシステムSoundTalks®について」、(株)NTT東日本から「NTT東日本の取組のご紹介」、厚木市の養豚生産者(有)臼井農産から「有限会社臼井農産における農場のICT化について」の講演が行われました。当所も継続して講習会に出席し、意見交換に参加しました。

本検討会は、畜産技術センター、(一社)神奈川県畜産会、(一社)神奈川県養豚協会、全農神奈川県本部が連携して例年開催しており、今後も養豚生産者への有益な情報発信を目指して取り組んでまいります。